

DENSO

株主のみなさまへ

第89期（2011年度）中間報告書 [2011年4月1日～2011年9月30日]

株式会社デンソー

（証券コード 6902）

株主のみなさまへ



取締役社長

加藤 宣明

株主のみなさまには、平素より格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

東日本大震災後、自動車業界が一丸となって復旧に取り組んできた結果、当初の見通しに比べ回復のスピードは速く、当第2四半期の生産は、震災前の水準まで戻りました。下半期は、各メーカーで生産挽回に向けた増産が計画されており、当社もこれに対応するため、前倒し生産の検討や、期間従業員の増員などにより、増産に向けた体制整備を進めています。

2011年度の上半期の連結業績

当上半期(第2四半期累計期間)の業績は、第2四半期で生産は回復したものの、震災後の大幅減産の影響が残り、売上高は1兆4,091億円と前期に比べ1,804億円の減収となりました。営業利益については、売上減少や円高の影響により319億円、経常利益は393億円、当期純利益は233億円とそれぞれ減益となりました。

地域別では、震災の影響により、欧州を除いて全地域で減収減益となりました。売上の面では、日本、北

米、豪亜では減収となりましたが、欧州では、欧州カーメーカー向けの売上が増加し、微増収となりました。利益の面では、日本は操業度低下、円高や素材価格の上昇などの影響で減益、北米は減産により営業損失となりました。豪亜も減益でしたが、全体の営業利益の8割を占めました。

2012年度通期の見通しについては、当下半期は車両生産の増加による市場環境の好転の一方で、円高の影響や素材価格の上昇等を勘案し、売上高を3兆1,600億円に修正いたします。営業利益は、1,350億円と見込んでおります。なお、タイの洪水についてですが、当社は現地に4つの拠点がありますが、幸いにも現時点では浸水被害は受けておりません。被災したタイのサプライヤーの支援や代替品への切り替えを進めており、生産への影響を極力回避できるよう努力しています。現時点では、業績見通しへの影響を正確に見積もることが困難なため、業績予想の数値には、今回の洪水影響は織り込んでおりません。

中間配当金については、前年同期より1円増加の1

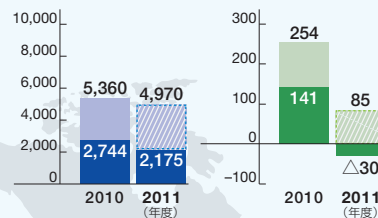
地域別(当社グループの所在地別)売上高・営業利益

売上高 通期 上半期 営業利益 通期 上半期

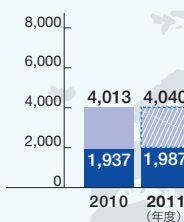
(単位:億円)

* 2011年度通期は見込み

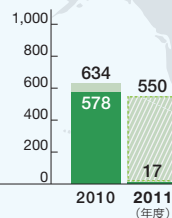
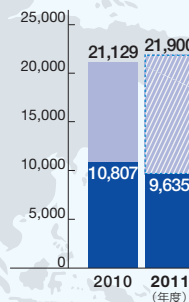
北米



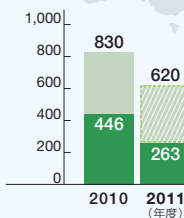
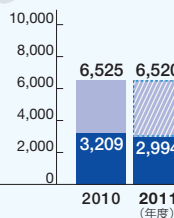
欧州



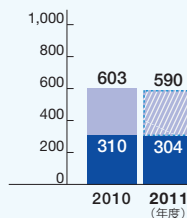
日本



豪亜



その他



株当たり23円とし、年間で46円を予定しております。今後も株主の皆さまへの利益還元のため、一層の努力を重ねてまいります。

構造改革方針の最終年を迎え

自動車業界を取り巻く環境が大きく変化する中、当社では2009年に構造改革3ヵ年方針を策定し、「事業体質のスリム化」と「次の成長に向けた体制づくり」に取り組んでまいりました。そして現在、次の10年に向けて、当社が進むべき方向や経営課題について、議論を進めています。引き続き、「環境」「安全」「快適・利便」の分野でお客様の期待を大きく超える商品・サー

ビスを時代に先駆けて創り出していくために、「地球環境に負担をかけないクルマ社会」と「交通事故ゼロの社会」を目指した環境・安全分野や、情報通信とHMI(ヒューマン・マシーンインターフェイス)技術を連携させ、積極的に事業を展開していきたいと考えています。また将来、自動車はプラグインハイブリッドや電動化を機に、家や街とつながり、電力インフラの一部になると考えています。当社が自動車で培った技術を活かし、自動車から広がる分野で新しい商品を作り出していきたいと考えています。

引き続き、ご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

2011年11月

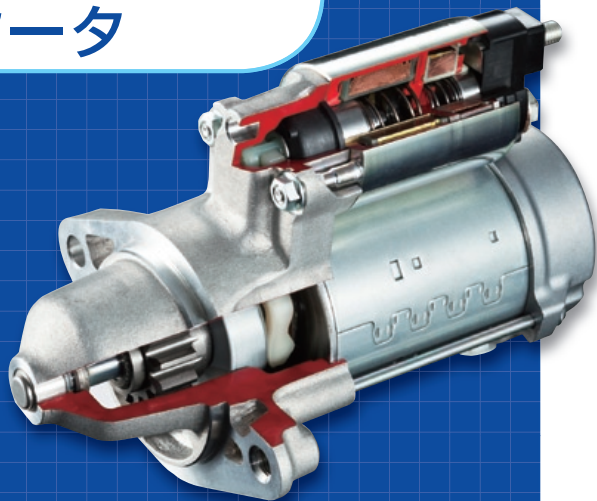
アイドルストップシステム用で世界初!

再始動にかかる時間を短縮し、スムーズな始動フィーリングを実現

タンデムソレノイドスタータ

アイドルストップシステム*用の新型始動装置「タンデムソレノイドスタータ」を開発しました。今まではエンジンが完全停止しないと再始動ができませんでしたが、今回の開発品は、エンジンが回転降下中でも再始動できるので、ドライバーが車両を動かしたいときに即始動できるようになりました。

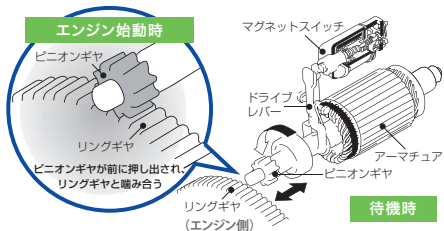
*アイドルストップシステム:無駄なアイドルをなくすため、駐車車や信号待ちの間にエンジンを停止させるシステム。これにより、燃料の節約と排出ガス削減の効果が期待される。



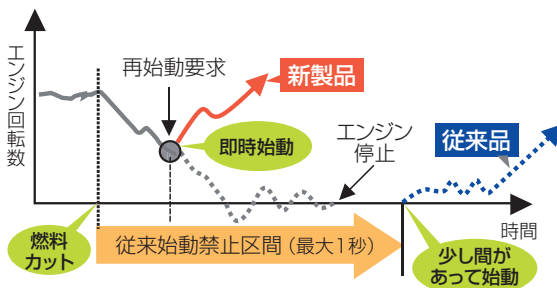
スタータとは?

エンジンを始動させるための直流モータのこと。エンジン始動時にピニオンギヤ(スタータの回転をエンジンに伝えるためのギヤ)が前に押し出され、エンジンのリングギヤと噛み合うことで動力を伝えます。一般的なスタータは発進時のみ使用されますが、アイドルストップシステム用スタータは、信号待ちなどで車両が止まるたびに動かす必要があるため、耐久性はもちろんのこと、早期始動やスムーズな始動フィーリング、静粛性などが求められます。

■ 一般的なスタータの仕組み



■ スタータ始動の比較 (新製品と従来品)



従来はエンジン回転降下中(減速時)に再始動ができず最大1秒近くの待ち時間がありましたが、新製品は世界初の構造を採用することで即始動を可能にしました。

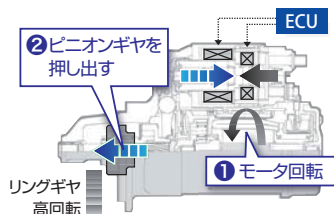
特徴

アイドルストップ時に
即エンジン再始動!

このスタータは、ピニオンギヤ(スタータ先端の歯車)の押し出しとモータ駆動を独立で制御する世界初の構造を採用することにより、当社の従来品と比べ、エンジンを再始動する際の待ち時間を最大1秒程度短縮し、スムーズな始動フィーリングを実現しています。

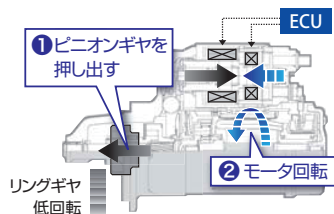
エンジン回転数が高い場合

先にモータを回転



エンジン回転数が低い場合

先にピニオンギヤを押し出す



開発までの道のり

電機技術1部 第1開発室
村田光広

開発の背景

日本でも環境意識の高まりやCO₂規制が強化されたことなどから、アイドルストップシステムの普及率が上昇しています。従来のスタータは、アイドルストップ時のエンジン回転降下中にスタータを再始動することができず、最大1秒ほどの待ち時間が発生するという課題がありました。これに対応する製品として、2008年に当社開発した「常時噛合スタータ」がありますが、車両側の大幅な変更が必要なことやコストの課題で広く普及していない状況でした。

困難を乗り越えて製品化へ

そこでこれらの課題をクリアするスタータの開発に着手し、車両搭載性やコスト面でも要求を満たす製品づくりに取り組みました。当社では、古くからアイドルストップ用のスタータを

量産しており、1999年にはヨーロッパで発売された「ヤリス」に搭載されるなど、経験やノウハウの蓄積があります。

今回の製品は、回転しているリングギヤにピニオンギヤを噛み合わせるという世界初の試みであり、文字通りゼロからの開発でした。このため理論の構築から膨大な実験検証を経たことで、信頼性を確保することができました。

フィーリング向上と低コスト化を実現

2011年9月、ピニオンギヤ押し出しとモータ駆動を独立で制御する世界初の構造を採用し、エンジン回転数に応じて作動を制御するタンデムソレノイドスタータが誕生しました。これが、同月に発売されたジャガーXFや、ダイハツ「mira e:S (ミライース)」に搭載されています。



ジャガーXF



mira e:S (ミライース)

TOPIC 01

IAA(フランクフルト国際モーターショー)に出展

9月15日から25日までドイツ・フランクフルトで開催されたIAA(フランクフルト国際モーターショー)に、「人、クルマ、社会をつなぐ」をメインテーマに出展しました。

体感型コックピット「Resonance(レゾナンス)2021」では、10年後の2021年のクルマ社会をイメージし、人とクルマ、クルマと社会、人と社会を「つなぐ」ことにより実現される運転の安心・安全と楽しさを来場者に体験していただき好評を博しました。

<http://www.denso.co.jp/ja/news/newsreleases/2011/110907-01.html>



デンソーブース

TOPIC 02

技能五輪国際大会の2種目で金メダルを獲得

10月にイギリス・ロンドンで開催された第41回 技能五輪国際大会において、「製造チームチャレンジ」(日本代表)、「CNC旋盤」(タイ代表)の2職種で金メダルを獲得しました。また、両職種ともにその国の中での最高得点者に贈られる“ベスト・オブ・ネーション”も受賞しました。

タイ代表は、カナダ・カルガリーで行われた前回の国際大会でも「CNC旋盤」職種で金メダルを獲得しており、2大会連続の金メダルとなりました。デンソーは、1971年の第20回大会に初めて国際大会に出場し、これまでの通算成績は金メダル26個、銀メダル13個、銅メダル12個です。今後も、技能五輪への取り組みを通じて、若手技能者育成と技能の伝承を継続していきます。

<http://www.denso.co.jp/ja/news/newsreleases/2011/111011-01.html>



製造チームチャレンジ(日本代表)



CNC旋盤(タイ代表)

新事業強化の一環として医療機器メーカー「ユネクス」に3社共同で出資

当社は、新事業強化の一環として、豊田通商(株)と(株)イー・アンド・デイとの3社で、医療機器メーカーの(株)ユネクスに共同出資しました。ユネクスは、高い測定精度から多くの大学病院などに納入実績があります。今回の共同出資では、ユネクスがこれまで培ってきたFMD(血流依存性血管拡張反応検査)測定に関する技術に加え、出資会社3社の持つ固有の技術と販売ネットワークの活用により、より競争力の高い新製品の開発力と販売力の強化を図ります。

株式会社ユネクス 会社概要

設立	2003年11月
所在地	名古屋市中区栄2丁目6番1号
売上高	3億2,500万円
事業概要	医療機器の開発・製造・販売
資本金	5億7,000万円
従業員	15名

<http://www.denso.co.jp/ja/news/newsreleases/2011/110525-01.html>

新機能を追加した ドライビングパートナーを発売

ドライビングパートナーとは、速度・時間・距離を含む様々な運転情報を一定時間記録するデジタルタコグラフと、危険運転や事故が発生した場合、その前後20秒間の映像と音声を記録できるドライブレコーダーが一体化した車両の運行管理用の製品です。今回、新たに「運転特性診断機能」や「交差点走行診断機能」など、安全で環境に配慮した運転実現のための様々な機能を追加し、デンソードライビングパートナーを発売しました。



ドライビングパートナー

<http://www.denso.co.jp/ja/news/newsreleases/2011/110906-01.html>

「CSR Report 2011」を ホームページに掲載

2011年度のCSR(Corporate Social Responsibility: 企業の社会的責任)の取り組みをまとめた「CSR Report 2011」をホームページに掲載しました。

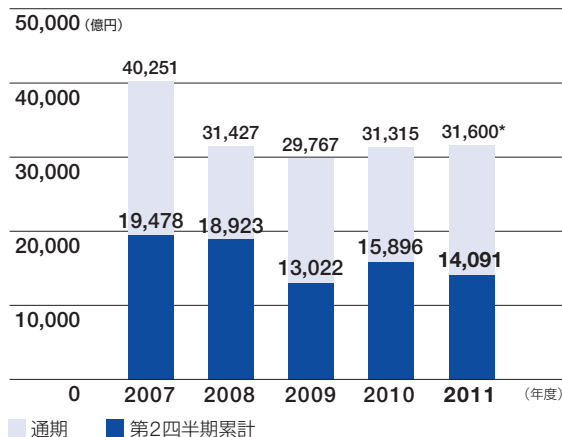
今回の「CSR Report」では、特集として東日本大震災の発生から約5ヵ月間にわたるデンソーの対応について、「組織的に社員を派遣した復興支援活動」、「事業継続に向けたリスクマネジメント」、「夏ピークの緊急節電に備え全社で対応」の3分野を紹介しています。



<http://www.denso.co.jp/ja/csr/report/2011/index.html>

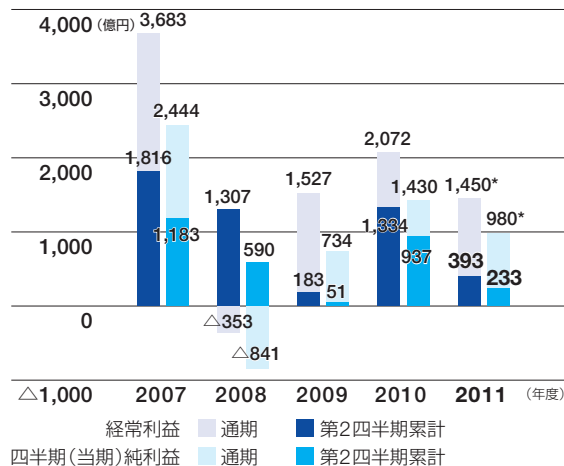
四半期連結業績の推移

売上高



* 2011年度通期は見込み

経常利益・四半期(当期)純利益

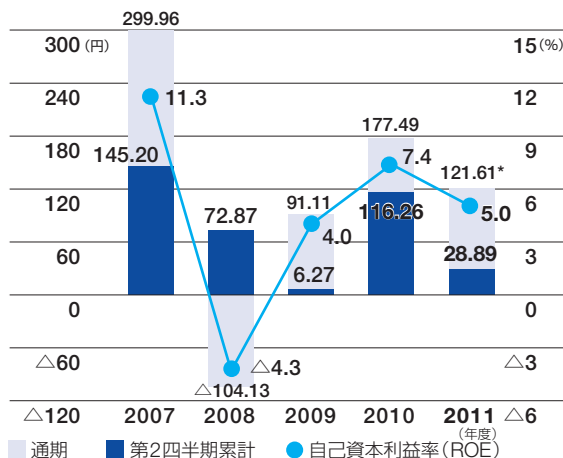


* 2011年度通期は見込み

解説

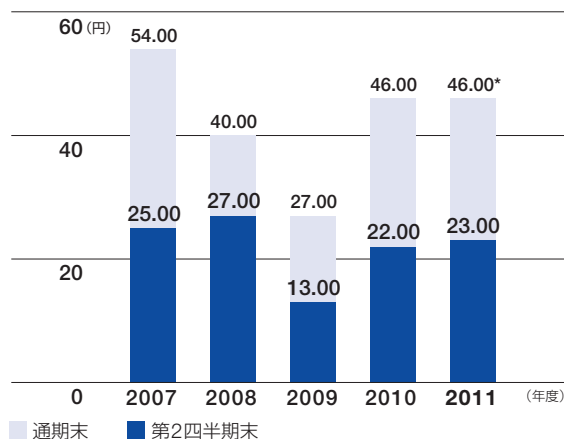
第1四半期の減産から第2四半期は生産が回復したものの、東日本大震災後の大幅減産の影響が残り、対前年比で減収減益となりました。

1株当たり四半期(当期)純利益／自己資本利益率(ROE)



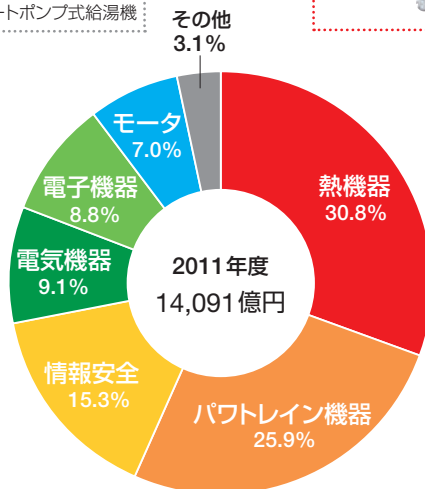
* 2011年度通期は見込み

1株当たり配当金



* 2011年度通期は見込み

製品別売上高



主な得意先

国内	トヨタ自動車(株)、本田技研工業(株)、ダイハツ工業(株)、スズキ(株)、マツダ(株)、三菱自動車工業(株)、日野自動車(株)、富士重工業(株)、いすゞ自動車(株) 他
海外	フィアット、GM、現代・起亜、フォード、アウディ・フォルクスワーゲン、クライスラー 他

四半期連結財務諸表

■連結貸借対照表 (単位: 百万円)

科目	2011年度 第2四半期末	2010年度末	科目	2011年度 第2四半期末	2010年度末
資産の部			負債の部		
流動資産	1,986,880	1,864,511	流動負債	786,649	792,471
現金及び預金	528,389	520,380	支払手形及び買掛金	397,476	394,801
受取手形及び売掛金	512,620	486,722	短期借入金	68,638	93,978
有価証券	476,699	413,247	その他の流動負債	320,535	303,692
たな卸資産	308,302	288,736	固定負債	669,107	515,519
その他の流動資産	160,870	155,426	社債	190,000	190,000
			長期借入金	270,108	115,622
			その他の固定負債	208,999	209,897
			負債合計	1,455,756	1,307,990
固定資産	1,439,721	1,515,922	純資産の部		
有形固定資産	790,085	823,228	株主資本	2,000,538	1,996,497
機械装置及び運搬具(純額)	307,347	332,880	資本金	187,457	187,457
その他の有形固定資産(純額)	482,738	490,348	資本剰余金	266,625	266,616
無形固定資産	16,228	17,122	利益剰余金	1,744,950	1,741,008
投資その他の資産	633,408	675,572	自己株式	△198,494	△198,584
			その他の包括利益累計額	△125,766	△34,098
			その他有価証券評価差額金	93,776	129,215
			繰延ヘッジ損益	382	59
			為替換算調整勘定	△219,924	△163,372
			新株予約権	3,612	3,462
			少数株主持分	92,461	106,582
資産合計	3,426,601	3,380,433	純資産合計	1,970,845	2,072,443
			負債純資産合計	3,426,601	3,380,433

■連結損益計算書 (単位: 百万円)

科目	2011年度 第2四半期累計	2010年度 第2四半期累計
売上高	1,409,146	1,589,573
売上原価	1,247,565	1,327,788
売上総利益	161,581	261,785
販売費及び一般管理費	129,722	137,514
営業利益	31,859	124,271
営業外収益	15,067	15,697
受取利息配当金	8,815	7,299
その他	6,252	8,398
営業外費用	7,579	6,524
支払利息	3,052	2,746
その他	4,527	3,778
経常利益	39,347	133,444
特別利益	—	4,599
特別損失	29	1
税金等調整前四半期純利益	39,318	138,042
法人税、住民税及び事業税	15,280	32,862
法人税等調整額	△3,150	2,875
少数株主利益	3,905	8,609
四半期純利益	23,283	93,696

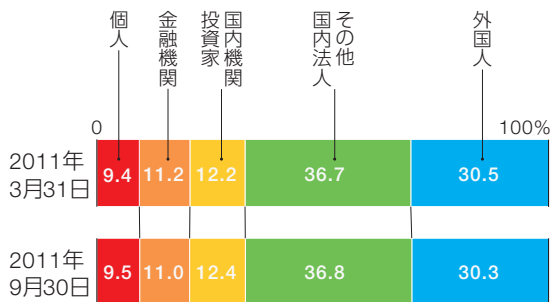
■連結キャッシュ・フロー計算書 (単位: 百万円)

科目	2011年度 第2四半期累計	2010年度 第2四半期累計
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,257	217,018
投資活動によるキャッシュ・フロー	△80,075	△63,647
財務活動によるキャッシュ・フロー	159,047	△23,541
現金及び現金同等物に係る換算差額	△20,299	△15,736
現金及び現金同等物の増減額	66,930	114,094
現金及び現金同等物の期首残高	688,626	681,725
現金及び現金同等物の四半期末残高	755,556	795,819

株式の状況 (2011年9月30日現在)

発行可能株式総数	1,500,000,000 株
発行済株式総数	884,068,713 株
株主数	71,375 名

株式保有者別分布状況 (議決権比率、%)



会社の概要

会社データ (2011年9月30日現在)

社名	株式会社デンソー
本社所在地	〒448-8661 愛知県刈谷市昭和町1-1 電話 0566-25-5511(案内)
設立年月日	1949年12月16日
資本金	1,874億円
従業員数(連結)	123,165名(就業員ベース) (2011年3月31日現在)

役員 (2011年9月30日現在)

取締役

取締役会長	深谷 紘一	専務取締役	白崎 慎二
取締役社長	加藤 宣明	専務取締役	宮木 正彦
取締役副社長	徳田 寛	専務取締役	鹿村 秋男
取締役副社長	小林 耕士	専務取締役	丸山 晴也
取締役副社長	土屋 総二郎	専務取締役	田島 明雄
専務取締役	広中 和雄	取締役	豊田 章一郎
専務取締役	杉 光		

大株主 (上位10名)

大株主名	持株数 (千株)	議決権 比率(%)
トヨタ自動車株式会社	199,254	24.74
株式会社豊田自動織機	69,373	8.61
ロバートボッシュ インベストメント ネーデルランドビーブイ	46,439	5.77
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	30,286	3.76
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	29,841	3.70
日本生命保険相互会社	24,050	2.99
デンソー従業員持株制度会	18,466	2.29
三井住友海上火災保険株式会社	15,148	1.88
SSBT OD05 OMNIBUS ACCOUNT-TREATY CLIENTS	10,524	1.31
第一生命保険株式会社	9,000	1.12

注)当社は自己株式78,133千株を保有しておりますが、上記大株主からは除いております。

監査役

常勤監査役	渡辺 敏男
常勤監査役	岩瀬 正人
監査役	張 富士夫*
監査役	齋藤 勉*
監査役	近藤 敏通* *社外監査役

常務役員

西村 繁広	伊藤 正彦	伊奈 博之
根井 也寸志	阪 好弘	桑村 信吾
Manfredo Nicoletti	加藤 俊行	加藤 之啓
槇野 孝和	臼井 定広	藤谷 一明
山中 康司	村山 浩之	都築 昇司
安達 美智雄	田坂 仁志	加藤 良文
若林 宏之	有馬 浩二	村上 正尚
山田 昇	下川 勝久	篠原 幸弘
岩田 悟志	豊田 達也	木村 和昌
湯川 晃宏	村上 幸彦	

株式会社 デンソー

〒448-8661 愛知県刈谷市昭和町1丁目1番地
TEL.0566-25-5511(案内)
www.denso.co.jp

株主メモ

事業年度：4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会：6月
配当金支払い：3月31日
株主確定日：なお、中間配当を実施する場合は9月30日です。
単元株式数：100株
証券コード：6902
株主名簿管理人：三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座管理機関：三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先：三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〒137-8081
東京都江東区東砂七丁目10番11号
電話 0120-232-711(通話料無料)

株式に関するお手続きについて

◎ 住所変更・買取(買増)請求・配当金受取方法の指定等 各種お手続きについて

証券会社に口座をお持ちの株主さまは口座のある証券会社へ、特別口座に口座をお持ちの株主さま(株券電子化移行に伴い、株券を証券保管振替機構に預託していない株主さま)は特別口座管理機関である三菱UFJ信託銀行へお問い合わせください。

配当金のお受取について

◎ 中間配当金のお受取について

第89期中間配当金のお受取期間は2011年12月30日(金)までとなっております。株主配当金領収証記載事項に従い、お早めにお受取りください。

◎ 支払期間経過後の配当金について

三菱UFJ信託銀行へお問い合わせください。

<表紙について>

アイドルストップシステム用の新型スタータをモチーフにしています。当社は、燃費向上・CO₂排出量削減に向けた技術開発を推進しています。詳細は、3-4ページをご覧ください。



この冊子は環境にやさしい植物インクを使用しています